



岐阜県感染症発生動向調査週報

Gifu Infectious Diseases Weekly Report

令和 8 年 3 月 5 日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

2026 年第 9 週
2/23~3/1

<情報編>

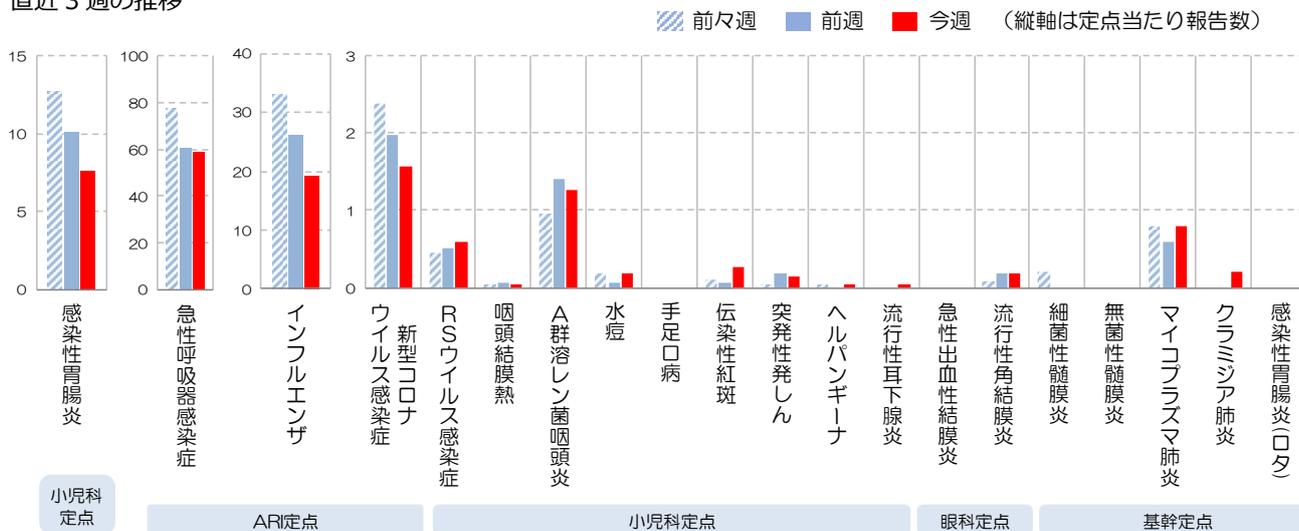
今週の主な動向

- インフルエンザの患者報告数は減少していますが、可茂地域、飛騨地域を始め、各地で多くの患者が報告されています。手洗い、手指消毒などの基本的な感染対策を心がけましょう。
- 県内で麻しんの報告が 1 例ありました。

定点把握対象疾患

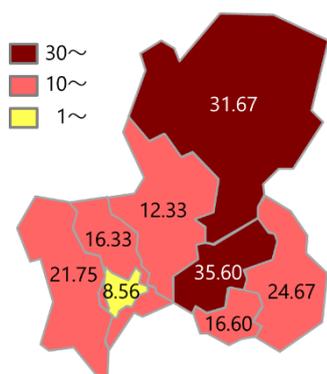
<ARI 定点：45 か所、小児科定点：27 か所、眼科定点：11 か所、基幹定点：5 か所>

● 直近 3 週の推移

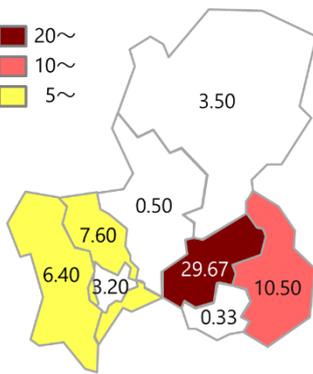


● 注意したい感染症の保健所別流行状況（地図中の数値は定点当たり報告数）

<インフルエンザ>



<感染性胃腸炎>



Memo

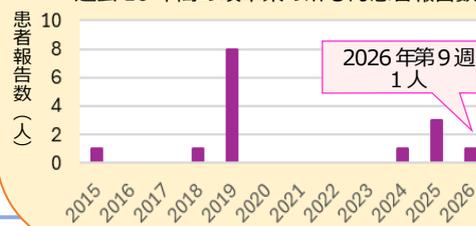
麻しん

麻しん（はしか）は、世界中で流行している感染症です。

通常 10~12 日の潜伏期間を経て発熱、咳、鼻汁など風邪のような症状がみられ、2~3 日発熱が続いた後、高熱と発疹が現れます。

非常に感染力が強く、空気感染などで感染が広がります。ワクチンによる予防が効果的ですので、定期接種の対象の方は確実に接種しましょう。

過去 10 年間の岐阜県の麻しん患者報告数



全数把握対象疾患

● 新規報告分

- 1 類感染症：なし
- 2 類感染症：結核 3 例
- 3 類感染症：なし
- 4 類感染症：なし

- 5 類感染症：ウイルス性肝炎 1 例、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 1 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例、侵襲性肺炎球菌感染症 1 例、水痘（入院例）1 例、梅毒 3 例、百日咳 2 例、麻しん 1 例

<情報編>